

平成30年度第1回 三笠市総合教育会議

- 1 開催日時 平成31年3月27日（水）午後3時00分開会
- 2 開催場所 三笠市役所 205号室
- 3 出席者
三笠市長 西城 賢策
教育委員 後藤 寿
教育委員 杉山 文夫
教育委員 黒田 憲治
教育委員 曾我 幸恵
教育長 永田 徹
- 4 事務局職員
副市長 北山 一幸
企画財政部長 金子 満
高校事務長 東 清明
企画調整課長 三好 智幸
社会教育課長 坂 保徳
学校教育課長 音羽 英明
学校教育係長 濱田 圭一
企画係長 加藤 慎吾
- 5 傍聴人 1名
- 6 議題
(1)学力向上について
(2)教育施策における子育て支援について

議事録（要旨）

1 開会

2 市長挨拶(要旨)

今年度で4回目を迎える本会議では、「学力向上について」と「教育施策における子育て支援について」実質的な議論を行うような場にしたいと考えております。

新学習指導要領が2020年度に改正されることを踏まえ、英語教育のグローバル化が非常に求められております。子育て支援の政策については、移住定住政策と一体化した中で取組みを行っていますので、ご意見をいただきたいと思っております。

忌憚のない意見交換を行い、教育の発展に努めたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

3 議題

(1) 学力向上について

【委員】 学力向上について話をさせていただきたいと思っております。学力テストの結果で、全国・全道平均を下回っている要因はどのように考えているのか。また、テストの結果だけではなく、結果を踏まえた中で個人の個性を伸ばす様な対策をお願いしたい。

【学校教育課長】 テストの結果が低い要因は、予習・復習の実施率が極めて低いことが挙げられます。家庭学習を1時間以上する子供が少なく、家庭学習の定着が課題だと考えています。学習方法を改善し、わかる授業を目指し教師自身が改善する必要があると思っております。

個性を伸ばす教育については、個々の良いところや好きなところを伸ばすといった長所を認めていく教育を進めていきたいと考えています。

【委員】 移住定住政策についてです。炭鉱が栄えていた頃の話ですが、三笠高校から有名大学へ数多く進学しており、優れた技術者の家族の影響だと考えています。

市内の工業団地企業には、優れた若い技術者がいると思われるので、企業に対して市の移住定住政策を説明して市外から通勤している方の中で、三笠に移住してもらえる方がいれば、学力向上と定住促進が図れるのではないかと考えていますがいかがでしょうか。

【企画調整課長】 工業団地の従業員の方が当市に移住していただくことは、非常に重要だと考えております。従業員の居住地の割合が市外の方が8割で市内の方2割程ですので、工業団地企業会の中で保育料の実質無料化や家賃助成などの定住対策を今までも説明させていただいており、今後についても、個々の企業に対して説明は行っていきますが、従業員の方が三笠市に住みたいと思えるようなPRをしっかりと行っていきたいと考えています。

【市長】 移住定住対策については、引き続きしっかりと行っていきたいと考えています。

【委員】 学力向上未来塾推進事業についてですが、これまでの成果と参加状況について教えていただきたい。
また、今後の目標について知りたい。

【学校教育課長】 未来塾の参加状況は、中学生が21名参加しております。成果としまして、参加している方の状況は、学力向上または現状維持という状況となっています。成果はでていると考えております。

また、目標については生徒が持っている目標に対して、講師がコーディネートをして対策していくことが挙げられます。

【委員】 塾に関しては必要だと思っておりますが、学力向上には家庭学習が大事だと思います。学校で生徒が家庭学習をどう勧めていくかの考え方について教えていただきたい。

【学校教育課長】 子供たちが楽しく身に付く授業づくりが大事だと思います。そこをどのように進めていくかについて、来年度に教育研究

所の講座を8月に予定していますので、文科省から数学のエキスパートを講師として呼び、先生方にご指導いただく予定です。来年度にプロジェクトチームをつくり、授業の改善をより一層進めていきたいと考えています。

【委員】 プロジェクトチームをつくるということですが、家庭学習を子供に普及させていくかという議論をプロジェクトチームで、考えていくということでしょうか。

【学校教育課長】 子供たちが家庭学習をすることで、達成感を感じれるようなことをプロジェクトチームで考えていきたいと思います。

【委員】 英語教育についてですが、ALTを導入することによる成果を詳しく教えていただきたいです。

【学校教育課長】 外国語指導助手(ALT)については、平成17年から2名体制で進めており、小中一貫教育を行っていることから、小学校に配置し、中学校に派遣しています。本場の外国語を直に体験することで、学力向上につながっていると考えています。

【市長】 子供たちが学力向上を目指すような環境づくりが大事だと思います。子供たちの目的意識を作るような環境を目指していくことが大事ではないかと思います。勉強だけでなく、芸術や音楽、スポーツなど個性を伸ばすような環境をつくることを目指したいと思っています。

(2) 教育施策における子育て支援について

【委員】 親子英語教室は、非常に好評だと聞いたのですが、保護者の方から要望等はあるのでしょうか。

また、継続受講を希望する生徒を受け入れることが課題と聞きましたが、どのような対策を考えているのでしょうか。

【学校教育課長】 2週間前に保護者の代表者3名が教育委員会に訪問されたのですが、親子英語教室に継続して参加した自分の子供が、

中学校に入学した段階で英語に関して理解力があり、スムーズに英語の授業に取り組んでいると聞きました。

また、現在受講している子供が、来年度同じように受講できるのかと質問がありました。残念ながら定員をオーバーするということがあれば、これまでは新規の方を優先していましたが、1年間だけ受講してもなかなか身につかないということで、継続して参加したい子供を受け入れていただきたいと要望がありました。来年度は、定員がオーバーすることがあれば公平性を鑑みて、抽選を実施したいと考えています。

【市長】 定員がオーバーした場合に、参加をお断りすることは非常に残念ではないか。今後は国際的な視点を持った子供たちが増えるというのは、市にとって重要なことだと思いますので、予算上難しいのであればしっかりと議論し、対策をとっていただきたいと思います。

ジオパークや高校生レストランで外国人が多く来ると聞いてますので、そのような場で子供たちに活躍してもらうことも考えていただきたい。

【委員】 給食の関係についてです。今年、消費税の増税が予定されていますが、給食費の値上げは考えていますか。また、値上げする場合、給食費が高騰しないように対策を考えていただきたいと思います。

【学校教育課長】 消費税の増税に伴い、一定の値上げは必要になると考えています。最低2%の値上げは必要と考えていますが、食材が高騰している状況なので、2%で留められるのかも含めて検討していきたいと思います。

【市長】 市で、野球では日本ハムファイターズの選手を、サッカーではコンサドーレの選手を講師として招いているが、他のスポーツで何か要望はあるのでしょうか。

武術に関しては、柔道や剣道は授業で取組んではないのか。

また、オリンピックに向かうような子供を育てていくためには、憧れの選手を誘致するようなことが重要ではないかと

思います。

色々なことに興味を持つ子供が増える環境づくりをお願いしたい。

【社会教育課長】 子どもたちの活動としては、バスケットボールやテニスや水泳がありますが、現時点では要望は挙がっていない状況です。

武術については、中学校の授業で柔道を教えています。

また、剣道はスポーツ少年団が唯一活動しており、子供たちにはあまり武術は広まっていない状況です。

今後、プロの選手がスポーツをしていない子供たちに対して、走り方や運動を教えていくことで、基礎体力向上を図れば良いと考えています。

【市長】 紙芝居は、最近活動しているのか。

また、学校で授業に取り入れている報告は受けているのか。

【社会教育課長】 毎月1回第3土曜日にかかるがも会という会を開いています。この会では、紙芝居を使い読み聞かせをしています。

【学校教育課長】 紙芝居については、授業で取組んでおりません。

【市長】 紙芝居は昔、授業で受けたことがあり、楽しかった記憶があるので、何か活用出来るように考えていただきたいと思えます。

みなさんからいただいた意見を参考にして子供たちが憧れを持つことで、参加したいと思うような活動を考えてもらいたいと思っています。

今後とも総合教育会議の中でもしっかりと議論させていただければと思います。

以上